

アールヌーヴォーと日本

Junio 1897
3, rue Bonaparte
Exposition de l'Œuvre
de
A. MUCHA

平成26年11月9日(日)～14日(金)
午前10時～午後4時
関西大学博物館特別展示室(簡文館2階)
入館料：無料 関西大学博物館実習展

関西大学博物館実習展

大阪・堺・阪堺電車

～都市をつなぐ道～

入館料：無料

平成26年11月9日(日)～11月14日(金)
時間：午前10時～午後4時
場所：関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)

平成
26年度

11月9日(日)～11月14日(金)
開館時間：10時～16時 / 入館料：無料
関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)

関西大学博物館実習展

関西大学博物館実習展

神になった人間

菅原道真

平成26年11月9日(日)～14日(金)
場所：関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
開館時間：10時～16時 / 入館料：無料

映画の栄華は昔のことが!?
想い溢れる映写室、85mmに収まらない!!

一九六三 あゝ映画

平成26年 11月9日(日)～11月14日(金)
開館時間 10時～16時
場所 関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
入館料：無料 関西大学博物館実習展

浪速の絵師菅楯彦と祭礼調査から

菅楯彦(1878～1963)は、明治・大正・昭和初期、市井に暮しながら独自の画風を確立し、もっとも大阪らしい画家と言われました。その作品には、楯彦が愛したなにわ・大阪の風俗、祭礼、町並みが描かれました。博物館実習展では、大阪商業大学商業史博物館と共同でおこなった祭礼行事の調査と楯彦の画業にインスパイアされて、博物館実習生が四つのテーマを選びました。また小企画展「菅楯彦とその門人・画友」も併催します。

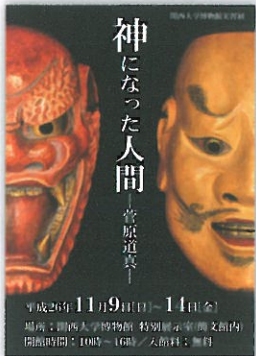
アールヌーヴォーと日本



千原(10時~16時45分)
開館時間:10時~16時
場所:関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
入館料:無料 関西大学博物館実習展

アールヌーヴォーと日本

19世紀後半に活躍したチェコの画家、アルフォンス・ミュシャは、花や星や女性などをモチーフにした、きらびやかなポスターを制作し、アールヌーヴォーと呼ばれる装飾的な様式を確立しました。彼が描く優美で繊細な世界は、ヨーロッパ圏内だけでなく、多くの日本人画家を虜にしました。また、当時ヨーロッパでは、浮世絵を中心とした日本美術ブームが起きていたので、ミュシャもそこからインスピレーションを得ていたと考えられます。本企画展では、ミュシャの複製版画とともに、アールヌーヴォーの影響を色濃く受けた、文芸雑誌「明星」の挿絵や、夏目漱石「我輩は猫である」の表紙など、貴重な資料を一挙公開します。作品どうしの比較を通して、西洋と東洋のつながりを感じてみてください。



千原(10時~16時45分)
開館時間:10時~16時
場所:関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
入館料:無料

神になった人間 ~菅原道真~

菅原道真は平安時代の文人で、なおかつ当時の天皇に重用された優秀な官僚です。しかし朝廷内の権力争いに巻き込まれ大宰府へと流されました。その後まもなく無念のうちに亡くなった道真は火雷神として人々に恐れられましたが、今では学問の神様として各地で祀られています。

私たちは生前の道真がどのような人物であったか、また道真が亡くなったあと、どのような経緯をたどって神格化され、天神さんとして祀られるようになったのかを、道真が自ら編纂した漢詩文集『菅家文草』や、怨霊としての道真を模した能面を用いて紹介します。

私たちの展示をご覧になったのち、地域の天満宮へと足を運んでみるのはいかがでしょうか。



千原(10時~16時45分)
開館時間:10時~16時
場所:関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
入館料:無料

大阪・堺・阪堺電車 ~都市をつなぐ道~

「阪堺電車」こと阪堺電気軌道は、新世界のある恵美須町と浜寺公園を結ぶ阪堺線と、天王寺駅前と住吉公園駅を結ぶ上町線からなり、住吉神社など歴史的な地域を通る路面電車として、長年の間親しまれてきました。

本展示では、創業当時から現在までに至る阪堺電気軌道のあゆみを見ていくとともに、阪堺電気道の沿線ゆかりのものを様々な視点から取りあげていくことで、「チン電」の愛称で親しまれている阪堺電車が、「大阪」と「堺」という2つの大都市とその沿線に何をもちたらし、何をつくっていったかを見ていきたいと思ひます。



千原(10時~16時45分)
開館時間:10時~16時
場所:関西大学博物館特別展示室(簡文館内)
入館料:無料

一九六三 あゝ、映画

画家・菅原道真は、亡くなる1963年まで大阪の風俗を描き続けました。ジョン・F・ケネディ大統領の暗殺が世界中に衝撃を与え、プロレス界が力道山を失ったその年は、映画界の名監督・小津安二郎が亡くなった年でもあります。

当時、大阪市内には247軒もの映画館があり、黒澤明監督の『天国と地獄』が大ヒットするなど、映画史に残る名作も上映されていました。しかしその裏側で叫ばれつつあったのが、映画産業の「斜陽化」です。

その要因は、テレビの普及に代表される、娯楽の多様化にあります。この年、それを促進するかのよう、日本初の連続テレビアニメ『鉄腕アトム』が登場し、人気を博しました。

本展示は、映画産業の「斜陽化」を軸に、当時の映画館の姿と、同時代に出現しつつあった他の娯楽を射程に収めたものです。亡くなった道真に代わって、1963年のある一面をお届けします!!

関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL : 06-6368-1171
http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/index.html
E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp

■アクセス 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線「関大前」駅下車 徒歩10分



関西大学博物館

関大前駅